ホームページ http://www.shinjuku-shinbun.co.jp

週刊 新宿新聞 THE SHINJUKU SHINBUN

9月15日 2015年（火曜日）（第1962号） 社章

発行所 株式会社新宿区新聞社 編集・発行人 春田 勇 新宿区西新宿1－7－1－25 ワコーレ新宿第2ビル

購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊60周年 ☎3369－6195 FAX3369－0759 （昭和32年12月4日第3種郵便物認可）

主なニュース

❷面 南口開発脱みフラッグスがリニューアル
❸面 池袋・かんぽ跡地に大型オフィス建設
❹❺面 熊野神社が例大祭・20日に本社神輿
❼面 赤城神社が例大祭（9月19日）
❽面 原宿駅前・裏通りに新商業施設

新宿駅南口 32階ミライナタワー 3月竣工

渋谷では『47階駅ビル』が20年に完成

新宿・渋谷・池袋の都市間競争

2020年のオリンピックをめざし副都心地区の3大ターミナルである新宿・渋谷・池袋では駅南側の開発が本格化している。新宿では来年3月、32階建ての駅ビル「JR新宿ミライナタワー」が完成。1～4階は㈱ルミネ運営の新型商業施設となる。東口のルミネエスト、南口のルミネ1・2より上の年齢層獲得をめざす。このほか南口にはイベントを行える屋外広場や多目的ホール・スタジオを設ける。一方、渋谷は20年オープンの47階駅ビルを含め、4つの地区で再開発ビルの建設が進んでいる。47階駅ビル屋上には展望台を設置し、集客力を競っている。

新宿駅南口では来年3月の完成をめざし、32階建てJR新宿新南口ビルの建設が進んでいる。ビル名は新宿の新たなシンボルとなり、周辺のまちづくりに対し「未来な新宿」「未来への出発点」となるとの願いを込め、「JR新宿ミライナタワー」へと決定。オフィスで働く人たちとおしゃれに気づかう商業を象徴するものとして、ロゴは3本の右肩上がりの直線からなるネクタイを模したデザインにした。3本の線にはそれぞれ❶訪れる人が様々な価値に触れる❷交流することで新たな価値観が生まれる❸共に成長していく―の意味を込めた。

▼年2百億円の売り上げをめざす

このビルの1～4階（中2階があるため5層構造となる）は㈱ルミネ運営の新型商業施設となる。

店舗面積は約5千3百平方㍍（共用部分含めた商業施設面積は約9千4百平方㍍）。

これまでルミネが新宿で運営してきた東口のルミネエスト、東南口・南口のルミネ1・2の3施設は20～30代の女性層が主力ターゲットだった。新商業施設はそれより上の30～40代の獲得もめざし、「ゆったり過ごせる上質感のある空間造りを図る」（JR東日本）という。さらに外国人観光客の取り込みをめざす方針だ。

ファッション・雑貨・飲食・食品・ライフスタイルを提供する約50店舗が入居。この中にはロサンゼルスを中心に米国で展開する人気ナポリタンピザレストランの「800 テクリーズ ナポリタン ピッチェリア」の日本1号店も出店する。

屋外には2,000平方㍍の広場を整備

屋外にはイベント広場

300席の多目的ホールやスタジオも

32階建てビルの隣には、交通ターミナルと文化施設からなる7階建てビルができる。

1階はホーム、2階は駅舎・広場となり、3階はタクシー・一般車、4階は高速バスの乗降スペースとなる。駅舎は既設の改札口（甲州街道側とサザンテラス側の2ヵ所）に加え、ミライナタワーへと向かう東側に新たな改札口を設ける。

また新駅舎の南側には約2千平方㍍の屋外広場を整備。5階に全長百㍍の回廊が周、6階に様々なイベントを行えるイベント広場（約3百平方㍍）、7階に自然と触れ合える芝生広場（約3百80平方㍍）を設ける。

5階には認可保育所と、ルミネが運営する多目的ホール・スタジオ「ルミネ ゼロ」（4月オープン）ができる。約3百席のホール（3百20平方㍍）と約百平方㍍のスタジオ2室で構成。ファッション、アート、エンターテイメント、ビジネスなど様々な情報を発信する文化創造拠点となる。6階はカフェが入る。

▼コラム「秘話み」は第2面へ

甲州街道

高架下にオープンカフェ

新宿初の「観光案内所」を設置

この南口開発に併せて整備されるのが甲州街道・高架下だ。まず西側（新宿駅寄り）部分で、来年4月、観光案内所からなる「情報発信スペース」（約3百平方㍍）がオープンする。新宿区と新宿観光協会が連携して運営にあたる。公的機関による観光案内所の設置は区内で初めて。

さらに来年度後半には東側（新宿三丁目駅方面）に、雨天時にも使えるイベントスペース（約千平方㍍）ができる。イベントがない時には飲食などが提供されるオープンカフェとして利用される。このイベントスペースの運営は、新宿区の公募により、ルミネが担当することが決まっている。イベントスペースは既存のルミネ1・2、来年3月オープンの南口新商業施設をつなぐエリアにあり、ルミネ側には東南口から南口にかけての賑わいをさらに増す狙いがある。

帰宅困難者対策

防災ポータルサイト開設

渋谷区長 長谷部 健

今年6月、帰宅困難者対策の一つとして「渋谷区防災ポータルサイト」の運用を開始しました。発災時にはスマートフォン等でこのサイトを閲覧することで、避難勧告や近隣の帰宅困難者支援施設の開設状況の確認及びGPS機能により支援施設への誘導が可能となっております。今年度は渋谷駅周辺における官民協働による総合的な防災対策として、安全確保計画を策定し、さらに安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

新宿ルールを見直し

新宿区長 吉住 健一

新宿区では地元商店街、企業などで構成する新宿駅周辺防災対策協議会を設置し、従業員の留置や帰宅困難者の誘導など国に先駆けて「新宿ルール」を策定、毎年訓練に取り組んでいます。現在、より実効性を高めるために商店街、鉄道事業者、地下街や集客施設など多くの方々とともに具体的な運用や役割の明確化など「新宿ルール」の見直しを進めています。今後も新宿駅周辺の安全・安心を確保できるよう地元の商店街や企業等の皆さまとともに帰宅困難者対策を進めてまいります。

総合防災システム導入

豊島区長 高野 之夫

早いもので新庁舎に移転してから、丸4ヵ月が過ぎました。新庁舎には最新鋭の総合防災システムを導入し、救援センターや駅周辺、主要幹線道路等に防災カメラ51台を設置しました。駅周辺に設置した防災カメラには、駅周辺の人の流れの異常を自動的に感知する世界初の解析技術が導入され、リアルタイムで正確な状況把握が可能になりました。

現在改修工事中の南池袋公園には、帰宅困難者1万人分の備蓄倉庫を整備するなど、今後も帰宅困難者対策を推進してまいります。